



2022年 9月 子育てワンポイント

テーマ 「育児で大切にしたい性と生のこと」



性教育を「性交」や「性器」の教育ととらえるととても狭いものになってしまいます。大切なことは自分のからだを大切に思う気持ちと嫌なときは「NO!」と言っていいことを学ぶこと。それは生きていくうえで大切な人権を守ることにもつながっていきます。自分の性を大切にすることは自分を守るだけでなく、他者の性を尊重することにもつながります。

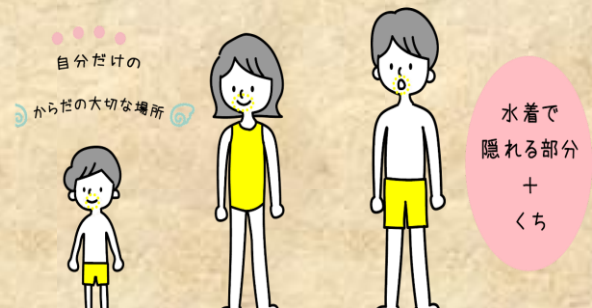
「おむつを替えてもらってすっきり!」その時優しく声をかけてもらうことから赤ちゃんは「心地良さ」や「大切にされている感覚」を身につけていきます。もう少し大きくなったら、お風呂でおしりや性器を丁寧に洗うことを伝えることも自分を大切に作る習慣につながります。同時にプライベートゾーンの話を通して自分の体は守られてよい存在なんだということ、そして他人のプライベートゾーンも守る必要があるのだという点もきちんと教えることが大切です。

プライベートゾーンとは…。

他人に見せても触らせてもいけない性的に関係のある自分だけの体の大切な場所のこと。

幼児期の子どもたちには『水着で隠れる場所と唇』と伝えるとわかりやすいです。合わせてさわられて嫌な気持ちになったら「いやだ!」と言ったりその場から逃げていいことも伝えましょう。

プライベートゾーンはどこ?



その子の生まれた日の話や生まれて来てくれて嬉しかったこと、大切に思ってきたことなどくり返し話すと、子どもたちの自尊感情も育ち周囲への信頼感にもつながります。「人はそれぞれ違うこと」「あなたはあなたのままでいい」とくり返し伝えることも自分を肯定的にとらえるようになります。



日々の生活の中で子どもたちが質問してくることがあると思います。素直な質問をはぐらかさず受け止めることが大切です。幼児期はいのちやからだ、心を大切にすることを伝える大事な時期です。まずは子どもが話しても大丈夫と思える関係づくりをし、しっかりと向き合って一緒に考え、その年齢に合った言葉で伝えていきましょう。

